

# 建築設備配管

## 鋼管の種類・用途

今号の「工場探訪」でご紹介した排水用ノンタールエポキシ塗装鋼管と本製品の原管となる配管用炭素鋼鋼管の規格をご紹介します。

### 排水用ノンタールエポキシ塗装鋼管 (WSP 032)

- 製品概要
1. 鋼管内面にノンタールエポキシ塗料を塗装した製品です。
  2. 耐水性に優れ、用途は汚水及び雑排水等の配管です。
  3. 実用上、使用温度は80℃以下、使用圧力は1.0MPa以下です。但し、連続的に高温になるような使い方はお避けください。なお、使用圧力が掛かる場合や使用温度によって、適合する継手を選定しご使用ください。

■ 種類・適用例

記号	構成	原管	適用例
SGP-NTA		JIS G 3452の黒管	屋内配管

■ 寸法表示

1. 寸法表

単位：mm

呼び径 (A)	塗装鋼管		原管(参考)		
	塗膜厚さ	長さ*	外径	厚さ	質量 (kg/m)
50	0.3以上	5,500	60.5	3.8	5.31
65			76.3	4.2	7.47
80			89.1	4.2	8.79
100			114.3	4.5	12.2
125			139.8	4.5	15.0
150			165.2	5.0	19.8
200			216.3	5.8	30.1
250			267.4	6.6	42.4
300			318.5	6.9	53.0
350			355.6	7.9	67.7

\* 長さは、特に指定のない限り5,500mmとします。

2. 表示例



3. 色相

内面	黒色
外面	濃い緑色

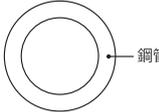


## 配管用炭素鋼鋼管 (JIS G 3452)

### 製品概要

1. 亜鉛めっきを行わない管(黒管)と亜鉛めっきを行った管(白管)があります。
2. 水配管用亜鉛めっき鋼管や各種ライニング鋼管の原管にも使用される鋼管です。
3. 管は電気抵抗溶接方法及び熱間仕上げ方法、冷間仕上げ方法、電気抵抗溶接方法の組み合わせによって製造されます。
4. 白管の場合は、「亜鉛めっきの耐食性範囲」(一般社団法人 日本溶融亜鉛鍍金協会HP)より、使用温度は50℃以下、pH6~12で使用できます。

### 種類・適用例

記号	区分	構成	適用例
SGP	黒管	 鋼管	蒸気配管、油配管、エア配管
	白管	 亜鉛めっき 鋼管	工業用水配管、空調設備配管、衛生設備配管、消火用配管

### 寸法表示

#### 1. 寸法表

呼び径 <sup>※1</sup>		外径	外径の許容差 <sup>※2</sup>		厚さ	厚さの許容差	ソケットを含まない単位質量(kg/m)
A	B		テーパねじを切る管	それ以外の管			
10	3/8	17.3	± 0.5	± 0.5	2.3		0.851
15	1/2	21.7	± 0.5	± 0.5	2.8		1.31
20	3/4	27.2	± 0.5	± 0.5	2.8		1.68
25	1	34.0	± 0.5	± 0.5	3.2		2.43
32	1 1/4	42.7	± 0.5	± 0.5	3.5		3.38
40	1 1/2	48.6	± 0.5	± 0.5	3.5		3.89
50	2	60.5	± 0.5	± 0.6	3.8		5.31
65	2 1/2	76.3	± 0.7	± 0.8	4.2		7.47
80	3	89.1	± 0.8	± 0.9	4.2		8.79
90	3 1/2	101.6	± 0.8	± 1.0	4.2		10.1
100	4	114.3	± 0.8	± 1.1	4.5		12.2
125	5	139.8	± 0.8	± 1.4	4.5		15.0
150	6	165.2	± 0.8	± 1.6	5.0		19.8
175	7	190.7	± 0.9	± 1.6	5.3		24.2
200	8	216.3	± 1.0	± 1.7	5.8		30.1
225	9	241.8	± 1.2	± 1.9	6.2		36.0
250	10	267.4	± 1.3	± 2.1	6.6		42.4
300	12	318.5	± 1.5	± 2.5	6.9		53.0
350	14	355.6	—	± 2.8 <sup>※3</sup>	7.9		67.7
400	16	406.4	—	± 3.3 <sup>※3</sup>	7.9	+	77.6
450	18	457.2	—	± 3.7 <sup>※3</sup>	7.9	-	87.5
500	20	508.0	—	± 4.1 <sup>※3</sup>	7.9		97.4

※1 呼び径は、A又はBのいずれかを用います。Aによる場合にはA、Bによる場合にはBの符号を、それぞれの数字の後に付けて区分します。なお、この規格においては、管の呼び径Aで代表します。

※2 局所的な手入部については、この表の外径の許容差を適用しません。

※3 呼び径350A以上の管の外径の許容差は、周長測定によることができます。この場合の許容差は、±0.5%とします。外径の測定に周長を用いる場合、外径(D)と周長(l)との相互換算は、次の式によります。

$$D=l/\pi \quad \text{ここに、D：外径(mm)、l：周長(mm)、}\pi：3.1416$$

#### 2. 表示例



#### 3. 製造方法を表す記号

B	鍛造鋼管
E-G	電気抵抗溶接鋼管
E-H	熱間仕上電気抵抗溶接鋼管
E-C	冷間仕上電気抵抗溶接鋼管

